

第11回宮城マスター検定1級試験解答と解説

番号	正解		解説
問1	1	作並温泉	作並温泉郷は豊かな自然が残る山懐に抱かれた歴史ある温泉地。古くから文化人などにも愛され、現在は、大型ホテルや和風旅館4軒が立ち並びます。
問2	3	塩竈市	黒潮に太陽を配し、伸びゆく港湾都市を表しているもので、昭和17年4月1日に制定されています。
問3	2	青	令和2年11月22日に新庁舎の開庁式が行われました。航空自衛隊松島基地を本拠地とする曲技飛行チーム「ブルーインパルス」の機体をイメージした青と白を基調とした外装となっています。
問4	2	登米ふれあいの森	森の持つ癒やしのチカラについての研究が進み、その効果の高い森が「森林セラピー基地」として認定されています。「登米ふれあいの森」は、宮城県で初めて森林セラピー基地に認定されました。園内には、時間や体力に合わせて選べる8コースが整備されており、四季折々の景色を楽しみながら散策することができます。
問5	4	佐々木 主浩	佐々木主浩さんは仙台市出身の元プロ野球選手です。「大魔神」の愛称で日米で抑え投手として活躍しました。平成10年に授与されています。
問6	2	多賀城南門	多賀城南門は多賀城の正門とされ、政庁正殿からおよそ380m南に伸びた政庁南小路を進んだ先にありました。多賀城には他に東門と西門があったことが判っており、周囲は築地や材木堀で囲まれていました。復元される南門と築地は古代の工法で建設され、2024年に完成する予定です。
問7	3	女川町	江島列島は「陸前江ノ島のウミネコおよびウトウ繁殖地」として国の天然記念物に指定されています。ウミネコは4～6月が繁殖期、ウトウは5～7月が繁殖期です。
問8	3	胴	北上川では夏から秋にかけて、「胴」という昔ながらの道具を使ってうなぎの「わな」を仕掛けると、脂ののった天然物のうなぎが獲れます。
問9	3	高蔵寺	高蔵寺阿弥陀堂は宮城県最古の木造建築で、平安時代の治承元年(1177年)の建立と伝えられます。平安時代の建造物は、現在全国で26ヶ所しか残っておらず、東北地方では、平泉の中尊寺金色堂、福島県白水の願成寺阿弥陀堂とともに現存する数少ない貴重な文化遺産です。この阿弥陀堂は、昭和25年には堂内に安置された阿弥陀如来坐像とともに、重要文化財に指定されています。
問10	2	六日	六日町通り商店街は昔ながらの店舗が元気に営業を続け、この4年間で新たに約10店舗が開業しています。最近では街の魅力を伝えるために、移住して来た若手デザイナーやイラストレーターが商店街のオリジナルマップを作り、令和3年放送のアニメにも登場しました。
問11	3	人車	大崎市松山の御本丸公園では、コスモス園の開園中に人車に乗ることができます(※令和3年度の人車の運行は中止)。平成21年に近代化産業遺産に認定された人車は、松山町駅と町の中心部を結び活躍した希少な乗り物です。
問12	3	柔道	仙台市出身の神永昭夫は前回の東京オリンピックで柔道の無差別級に出場し決勝でアントン・ヘーシンクに破れ銀メダリストになりました。引退後は、全日本柔道連盟のコーチとして活躍し、さらに全日本代表監督として多くの選手を金メダリストに導きました。
問13	2	名取市	令和2年国勢調査の人口増加数は、仙台市15,037、名取市2,089、多賀城市1,180、大和町542、大衡村146、女川町98、富谷市68となっています。

番号	正解		解説
問14	3	鹿	佐沼城は別名「鹿ヶ城」と呼ばれ、城跡は現在「鹿ヶ城公園」と命名されています。
問15	2	合戦原遺跡	合戦原遺跡は古墳時代終末期から奈良時代にかけての横穴古墳54基、古代竪穴建物跡2軒、土抗60基などが発見されました。38号横穴の玄室奥壁で人物や鳥を描いた線刻画が確認され、直刀、鉄鏃、鎧、杏葉、帯金具などが出土されました。平成28年5月線刻壁画が現地から取り出され、修復・強化を経て平成30年11月から山元町歴史民俗資料館で初公開されました。
問16	4	七ヶ宿町	七ヶ宿町には古文書にも記載されるほどの名産品のそばがあり、各店を結ぶ国道は「そば街道」と名付けられています。
問17	3	①富山 ②大高森 ③多聞山 ④扇谷	富山、扇谷は松島町、多聞山は七ヶ浜、大高森は東松島市にあり、それぞれ、麗観、幽観、偉観、壮観と呼ばれています。麗観・富山は標高116.8メートル、壮観・大高森は標高105.8メートル、偉観・多聞山は標高56メートル、幽観・扇谷は標高55.8メートルです。
問18	2	菊面石	菊面石が産出するところで有名なのが白石市大鷹沢です。地名に菊面石があります。大正12年に国指定の天然記念物になっており、白石市の大鷹沢公民館に展示されています。
問19	4	美人杉	南三陸さんさん商店街は隈研吾氏の設計で、平成29年3月3日に移転し開業しました。商店街は地元の「美人杉」がふんだんに使われ、28店舗が軒を連ねています。
問20	4	城山	日本初の金産地でもある涌谷町の観光PRキャラクターは「城山の金さん」です。町花の桜がモチーフになっています。町の公園として親しまれている城山公園(涌谷城跡)は県内有数の桜の名所です。 
問21	4	ブーツの娘	この像の台座には「戦争は人の心の中に生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かなければならない」という文字が日本語と英語で記されています。また、この「ブーツの娘」はユネスコ本部のパリにも設置されており、お互い向かい合っています。
問22	2	桂葉清水	名水百選は昭和60年3月に環境庁が「保全状況が良好」で「地域住民等による保全活動がある」全国100ヶ所の湧水・河川(用水)・地下水を選定したもので、宮城県からは仙台市の広瀬川と、栗原市高清水の「桂葉清水」が選ばれました。
問23	4	丸森町	丸森町大張にある沢尻棚田は「日本の棚田百選」に宮城県から選ばれている棚田2ヶ所のうちの1ヶ所です。阿武隈川に面した急傾斜にある棚田で周辺はこし柿や筍の産地として有名です。
問24	3	恵比須田遺跡	大崎市田尻の「恵比須田遺跡」から出土したもので、全長36センチメートルは日本最大級です。現在は東京国立博物館所蔵ですが、レプリカが大崎市田尻総合支所に展示されています。
問25	4	大木罎貝塚	七ヶ浜町の丘陵上にある「大木罎貝塚」は、縄文時代前期から後期にかけての集落跡で、昭和43年の国史跡指定面積が197,248平方メートルと国内最大です。松島湾周辺にはこの他にも東松島市の里浜貝塚など大規模な貝塚が約70ヶ所も集中しています。
問26	3	漬け物	現在では数軒しか栽培していない加美町小瀬地区の幻の伝統野菜で、小瀬地区以外でつくると葉が柔らかくならないと言われています。一般的な大根とは異なり、根の部分でなく葉の部分を食べ、冬の保存食として漬け物にされます。

番号	正解		解説
問27	2	研磨加工	昭和28年創業の鑄造工場を前身とする利府町の株式会社ティ・ディ・シーは世界最先端の超精密研磨加工技術を持ち、小惑星「リュウグウ」のサンプルを採集して令和2年12月に地球に帰還した、小惑星探査機「はやぶさ2」の回収容器の内面の研磨加工を担当しました。
問28	1	早馬神社	気仙沼市唐桑町宿浦の早馬(はやま)神社は、建保5年(1217年)に梶原景実により創建され、北条政子の安産祈願を執り行ったことから、安産・子育てにご利益のある神社として有名です。
問29	2	白鳥	長沼フートピア公園には異国情緒あふれるオランダ風車「白鳥」があります。高さ21.22メートル、羽根の直径23・70メートル。この風車はオランダから取り寄せた風力のみで稼働する日本では数少ない貴重なものです。ドラマのロケ地としても登場しています。
問30	2		宮城県の伝統こけしは種類、工人、歴史とも日本一です。 ②遠刈田こけしの特徴は、赤い放射状の華やかな模様(髪かざり)です。 ①作並こけしは赤い模様の髪かざりが輪になっています。③鳴子こけしは「水引手」と呼ばれる赤い髪かざりと髪を束ねて後ろに垂らしています。④弥治郎こけしはベレー帽のようなろくろ模様が特徴です。
問31	4	伊達いわな	「伊達いわな」は宮城県が技術開発した全雌三倍体で卵をもたないイワナです。卵に栄養が取られないため、体長約50センチメートル、体重1キログラムまで成長し、年中品質が均一で四季を通じて出荷できます。平成25年に「伊達いわな」と命名され、水揚げ直後の体重が800グラム以上と定められています。
問32	4	石井閘門	石井閘門は野蒜築港の一環として石巻市に建設された最古の近代的閘門で、近代土木遺産として国の重要文化財に指定され、現在も稼働しています。
問33	2	地中海キャベツ	キャベツはアブラナ科の野菜で、原産地はヨーロッパ南部の海岸地域です。「地中海キャベツ」のブランド名は、原産地にちなんでいます。登米市の生産量は県内一。気温の寒暖差がある内陸性の気候が、甘味ののったおいしいキャベツを育て、県内はもとより関東圏に出荷しています。キャベツには、キャベジンと呼ばれるビタミンUが豊富に含まれており、抗潰瘍性機能があります。
問34	2	1000	「女川いのちの石碑」は当時中学生だった人たちが結成した「女川1000年後のいのちを守る会」が建てたものです。1,000年後の人たちにまで震災の記憶を伝えようと募金活動で設置したものです。
問35	4	鈴木 文治	鈴木文治は明治18年に金成で生まれ、10歳の頃に父親とともにキリスト教に入信しました。東京大学を卒業後、労働者の地位向上を目指し「友愛会」を発足するなど、大正・昭和期の社会運動家として活躍しました。後藤幸之永は金成歴史民族資料館＝旧金成小学校の設計者。酒井篤礼及び川股松太郎は、すぐ近くにある金成ハリストス正教会の建立に尽力しました。
問36	—	陸羽東線	小牛田駅は遠田郡美里町にあるJR東日本の駅です。明治23年4月、日本鉄道が岩切から一ノ関までの路線を開通させたのと同時に開業しています。JRの東北本線、石巻線、陸羽東線が乗り入れています。
問37	—	こんてんぎ	仙台藩天文学器機は渾天儀(こんてんぎ)、象限儀(しょうげんぎ)、天球儀(大・小)の計4点が平成24年に国の重要文化財に指定されています。江戸時代の仙台藩では天文学が盛んでした。これらの器機は現在仙台市天文台で常設展示されています。
問38	—	20	平成に日本中で町村の合併が進み宮城県でも多くの市町が生まれました。現在では14市20町1村の合計35市町村となっています。

番号	正解	解説																		
問39	— だて正夢	「だて正夢」は「とびっきりのもちもち食感」を追求し、育成から12年の歳月を経て平成30年に本格デビューしました。炊き方としては、普通のお米よりも水の量を少な目にして炊くのがコツとのことです。																		
問40	— かなえおおはし	気仙沼湾をまたぎ全長1,344メートルの「気仙沼湾横断橋」の愛称は、気仙沼湾の古くからの呼称である「鼎が浦」と夢や希望を「かなえる」という意味を込めて、「かなえおおはし」に決まりました。																		
問41	— 谷地原生	「世界谷地原生花園」は栗駒山南麓に広がる大湿原で、ブナの原生林に囲まれ多くの高山植物が群生し、特に6月頃のニッコウキスゲが有名です。																		
問42	— けそくじ	登米市東和町米川の華足寺は「けそくじ」と読み、県指定文化財の客殿は江戸時代中期以前、山門は寛政11年(1799年)の建築で屋根に魔除けの蟠龍を配した真言宗の寺で、馬頭観音を祀っています。																		
問43	— さつき	小野さつきは白石川での写生の授業で、水遊びをして溺れた3名の児童を助けるために川に飛び込み2人を助け、最後の1人と亡くなりました。この話が小野さつき訓導物語として地元で長く語り継がれています。蔵王町宮地区の白石川河畔には記念碑が建てられています。																		
問44	— 1、3	平成30年漁業・養殖業生産統計年報によると、宮城県が全国一位の水揚げ量や生産量となっている水産物は「サメ類」、「ギンザケ(養殖)」、「カジキ類」、「ガザミ類」、「ホヤ類(養殖)」です。																		
問45	— ひつじさき	坂上田村麿が蝦夷の頭領・魔鬼女を征伐したと伝えられる牧山は、現在では牧山市民の森として整備され、市民の憩いの場として親しまれています。山頂からは石巻市街を一望することができ、期間中は約300種、3,000株の色とりどりのあやめやハナショウブが咲き乱れます。																		
問46	— 津山、米山	道の駅「津山」(愛称もくもくランド)は旧津山町にあります。道の駅「米山」(愛称ふる里センターY.Y)は旧米山町にあり、町出身で横綱の丸山権太左衛門の銅像があります。																		
問47	— 岩沼(市)、 亶理(町)	東北では北上川に次ぐ長さの川です。丸森町から角田市そして柴田町と流れて岩沼市と亶理町の境から太平洋に注ぎます。																		
問48	— 雷神山(古墳)	雷神山古墳は、古墳時代前期の土師器が出土することなどから、4世紀末～5世紀初頭に造られたと考えられています。現在は、後円部の北側にある径54メートルの円墳である小塚古墳とともに史跡公園として整備されています。																		
問49	<table border="0"> <tr> <td>(温泉郷)</td> <td></td> <td>(特徴)</td> </tr> <tr> <td>鳴子温泉</td> <td>・</td> <td>仙台藩の御殿湯が設けられた温泉</td> </tr> <tr> <td>東鳴子温泉</td> <td>・</td> <td>熱湯を吹き上げるかんけつ泉でも有名</td> </tr> <tr> <td>川渡温泉</td> <td>・</td> <td>「奥州三名湯」のひとつに数えられる</td> </tr> <tr> <td>鬼首温泉</td> <td>・</td> <td>鳴子随一の湯量を誇る温泉地</td> </tr> <tr> <td>中山平温泉</td> <td>・</td> <td>かけ治療で有名な湯治の里といわれる</td> </tr> </table>	(温泉郷)		(特徴)	鳴子温泉	・	仙台藩の御殿湯が設けられた温泉	東鳴子温泉	・	熱湯を吹き上げるかんけつ泉でも有名	川渡温泉	・	「奥州三名湯」のひとつに数えられる	鬼首温泉	・	鳴子随一の湯量を誇る温泉地	中山平温泉	・	かけ治療で有名な湯治の里といわれる	<p>鳴子の5つの温泉郷には約400本の源泉があり、豊富な湯量を誇るため多くが源泉かけ流しの風呂となっている。また、泉質の種類も多く、古くから湯治場として栄えてきた歴史があります。鳴子温泉郷は「国民保養温泉地」にも認定されています。</p>
(温泉郷)		(特徴)																		
鳴子温泉	・	仙台藩の御殿湯が設けられた温泉																		
東鳴子温泉	・	熱湯を吹き上げるかんけつ泉でも有名																		
川渡温泉	・	「奥州三名湯」のひとつに数えられる																		
鬼首温泉	・	鳴子随一の湯量を誇る温泉地																		
中山平温泉	・	かけ治療で有名な湯治の里といわれる																		
問50	<table border="0"> <tr> <td>(方言)</td> <td></td> <td>(標準語)</td> </tr> <tr> <td>おどげ</td> <td>・</td> <td>まゆげ</td> </tr> <tr> <td>あくと</td> <td>・</td> <td>下あご</td> </tr> <tr> <td>このげ</td> <td>・</td> <td>かかと</td> </tr> </table>	(方言)		(標準語)	おどげ	・	まゆげ	あくと	・	下あご	このげ	・	かかと	<p>「おどげ」は「おとがい(頤)＝下あご」が変化したもの、「あくと」は「かかと」の古語が残ったもの、「このげ」は「顔の毛」が変化したものとされています。</p>						
(方言)		(標準語)																		
おどげ	・	まゆげ																		
あくと	・	下あご																		
このげ	・	かかと																		